

e-ビーフNEWS 北の牧場から

October 2019

十勝は初秋

メッキリ一気に秋模様ですね。朝方は10℃が切れることもありつゆ霜が窓ガラスにびっしり付いています。ストーブも何度かつけ始めました。ラクビーワールドカップが巷を騒がせる中、木々は黄色に、衣替え始めています。

畑の豆などの作物も黄色になり、刈り取りが始まりました。デントコーンも霜が当たり葉茎は黄土色、大型のハーベスターがうなりを上げ、収穫物を満載にしたダンプが道路を行きかいます。今年は大きな災害もなく、天候も安定して例年並みの収穫できそうです。

浜に行く秋の風物詩、アキアジ釣りの長い竿が林立しています。今年は豊漁、一人10本程度上げているようです。ここにきて沖に定置網が入り、全然釣れていないようですが、釣り人はジーと穏やかな海を眺めています。その上空を100羽近い大群の水鳥が、「く」の字になって内陸に飛んでゆきました。秋です。



活動のお知らせ

- 10/23(水)～24日(木) 北海道アニュアルフェアスタディーツアー 函館/大沼流山牧場、山田農場～北里大学八雲牧場
 11/3(日)～4日(月) 山口県防府市 ふるさと牧場 畜産システム研究会第33回大会 テーマ「放牧を利用した里山の再構築」
 11/7(木) 北海道畜産公社十勝工場 北海道肉専用種枝肉共励会
 11/7(木)～8(金) とかちプラザ 第16回資源循環型肉牛生産シンポジウム2019開催
 基調講演「農業の持続的な発展とスマート農業」 農研機構 北海道農業研究センター 村上則幸領域長
 話題提供、「有機畜産とAI活用 実践例」津別有機酪農研究会 会長 石川賢一氏
 話題提供「IoT技術の肉牛生産への活用事例」(株)デザミス北海道営業所長佐藤志津哉氏
 話題提供「牛専用種枝肉共励会の成績について」司会 帯広畜産大学 教授 口田圭吾
 ■パネルディスカッション パネラー:講演者、消費者代表 ■意見交換会eびーふ 試食会(18:00～)帯広 宮崎ホテル予定
 ■食味試験 (17:30～18:00) 帯広畜産大学 口田研究室主催 ■現地検討会:11月8日(金)午前8:00発 木野e-びーふ牧場ほか

NEWSばか読み

- 農林水産省 輸出検疫条件の短縮策を協議 9/2:双方向ならリスクあり
- 岐阜県 豚コレラで欧州並み(SPF同等)の防疫体制強化検討
9/2:県単位で強化策
- 農林水産省 食料支出を人口減で縮小傾向/加工需要増を予測
9/3:自給率とは別
- 畜産経営者協議会 スマート畜産に技術支援を政府に要請 9/3:真摯に
- 農林水産省 生乳出荷先の契約期間内移動を抑制
9/4:いいとこ取り期間の抑制
- 農林水産省 イノシン囲い込みで餌ワクチンベルト帯を設置
9/4:イノシンは自由人
- 8月和牛生体市場 安値 枝肉相場振るわず 9/4:転機か
- 豚コレラ対策でマーカーク付きワクチンを検討 9/5:間に合うか
- 北海道ブラックアウトから1年 乳業会社の非常用電源設置が進む
9/5:酪農家は
- 米国外食大手 植物由来の「エビ」に注目 9/6:肉以外も多様性進む
- 愛媛大 光合成を即時計測 世界初のAIリアル化活用に 9/10:進むね
- 中国 豚肉価格高騰で物価高 米中貿易摩擦や豚コレラが影響
9/11:食肉が景気に
- 国産小麦 播種前入札で最高値6万円/ト供給追い付かず
9/13:本当の良さを

- 米国 電子タバコ禁止に 9/13:JTBどうする
- 豚コレラ 関東に拡大 埼玉の農場で発生 9/14:拡大着実対策遅れ
- 総務省 100歳超え7万人65歳以上3600万人28.4% 9/14:重要な人材
- 千葉停電 深刻な状況 昨年の北海道ブラックアウト以上
9/15:教訓は生かされず
- サウジ石油基地破損 原油供給リスク大 9/16:エネ分散化必須
- 総合商社 新興国で森林事業を拡大 9/16:先を見ると
- 国内外食産業大手 米国事業に再挑戦 丸亀、吉野家
9/17:日本のソールフード
- 韓国 アフリカ豚コレラ初発生確認 拡大 9/18:防疫体制の再確認
- 農研機構 現代食の環境負荷、たんぱく質過多 9/19:
- 消費庁 判別不可能からゲノム食品は非表示 9/20:ゼロリスクはいかに
- アマゾンエフェクト 米国内小売店舗1万店減少 9/23:流通変革急
- 後発薬に中国リスク拡大 内製化や供給先の多様化 9/23:多様化必須
- 台風被害の千葉県 畜舎壊れ乳量激減 9/24:災害リスク拡大
- 農林水産省 蚕復活に本腰 全国シルクビジネス協賛足 9/24:一回無くすと
- 千葉県 全国有数の採卵鶏出荷減で鶏卵相場高騰 9/26:千葉県畜産県
- 兵庫県 「神戸ビーフ」でDNA鑑定導入ブランド保護 9/26:徹底してやる
- 日米協定合意TPP並開放 9/27:国民除外 任せていいの
- 環境庁 豚コレラ拡散防止に訪日客啓発ポスター
9/30:農林水産省ではないの

東京直近NEWS (9/30 Shi-REPORT)

ホルス

相場変動はやや下げ基調。
販売低迷状況が枝相場にも反映してきている状況か。
販売全般鈍い状況で、特にロース、モモの荷動きが重い。
切落しも停滞していることから、モモ赤身の評価も下落しており荷余り感強い。特にロースは鈍くステーキブームも一段落からかなり鈍い状態。
季節柄カタロースのスライス部位の間合せがやや増えてきている。

経産牛

経産牛相場は高値維持。
出回り頭数はやや回復している数値も、相場は高値安定状態。
上物からガリ枝まで値差が少なく、挽き材関係はコスト上昇。
バラ、赤身中心に引き合いは強いまま。
挽き材も絶対数量が不足しているために引き合いは非常に強い。
生乳不足は回復しておらず、経産牛の集荷頭数に不安要素残る。

左先生の畜産学研究NEWS

この時期は日本に台風被害が頻発します。今年は15号台風が千葉県に甚大な被害をもたらし17号台風が追い打ちをかけました。最近の台風は雨・風とも強烈で都会周辺が安全ではなくなっています。これは地球温暖化の顕れだという指摘もあります。折しも国連で気候行動サミットが安倍首相を除く77カ国の首脳が参加して行われました。スウェーデンのグレタ・トゥンベリさん(16才)の「あなたたちの話すのは金と永遠の経済成長というお伽話だけ・・・」という発言には大きな拍手があったそうです。待たなしの地球温暖化に対する具体策は気候変動に直面する農業者にとって深刻です。「茹でガエルの理論」がここでも当てはまりますが、納得してはいけなそう思いました。e-ビーフNews70号の学術情報は以下の通りです。尚、畜産技術のBSE特集は月遅れですが肉牛生産者に関心が高く、分割紹介を続けます。

1. 畜産技術#770,2019.7

特集2. BSEをめぐる情勢(農水省動衛課, 道野英司;厚労省, 松浦裕一;動衛研)

農水省は厳格なBSEのリスク管理措置を経て飼料規制と動物由来タンパク質の輸入規制などでOIEのステータス認定を得た経緯から今後もこれらの措置に必要な見直しでステータス維持と牛肉輸出促進を目指すとしています。一方厚労省は食品の安全性の観点から特定危険部位の除去・焼却の義務化、BSE全頭検査で対処してきました。国内外のBSEリスクの低下で国内措置や輸入条件の見直しを計り今日に至りました。今後は人のプリオン病の可能性について検討が必要で、動衛研

部門でのウシへの感染実験などの成果からBSEプリオン感染動物の発症が継続されるべきと言います。

2. 畜産技術#772, 2019.9

国内情報1: 放牧型畜産への先端技術の利活用:IT技術を活用した高度放牧管理システム(後藤貞文;鹿大院農)

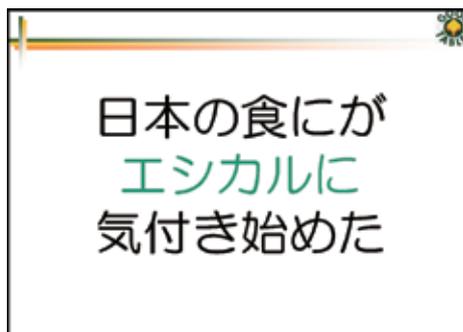
黒毛和種牛の放牧による牛肉生産方式でIT技術がどの分野で活用できるかの実証試験です。その1つが牛の条件反射能も活用したウェブカメラとサウンドシステム、自動給餌機、ロック機構付スタンションを用いた装置をスマートフォンで操作する遠隔自動給餌システムです。さらには繁殖牛の分娩探知に必要な体温などのバイタルデータを皮下埋め込みのインプラントセンサーデバイスで捕らえることが有効と思われました。現在のIT技術の有効活用には単純化したデータを利用する周辺施設の整備が重要と思われました。

3.北畜草会報Vol.7(2)2019

ワークショップ「ゲノム育種価を用いた乳牛及び肉牛の改良の現状と課題」
 黒毛和種におけるゲノム育種価活用の現状(鹿島聖志,道総研畜試) 牛肉生産に重要な繁殖雌牛の遺伝的能力の評価は、少量のDNAから多数の一塩基多型を判定するSNPチップの開発で飛躍的に黒毛和種のゲノム育種価が早期選抜に有効であることが示されました。今後は肥育牛の枝肉形質のSNP解析と共に雌牛の繁殖性や哺育性、飼料利用性などの生産形質に基づいたゲノム育種評価が大切と思われました。

国産牛 NEWS

基調講演.「家畜の福祉と肉牛生産」 全4回シリーズ①
 (株)グッドテーブルズ 山本 謙治 社長



転載・再利用は固くお断りします